



西村証券

チーフストラテジスト  
門司総一郎の

# ウィークリーレポート

2021年  
11月24日  
発行

第113回

「年末相場が始まった」

～日経平均は3万円超え～

## 初めに

今年の日本株はここまでボックス圏で推移、日経平均は3万円を挟んだ動きに終始しました。長らくこの仕事を続けていますが、これだけ動きが少なかった年は記憶にありません。しかしここ数日、株式市場は動意づいており出来高も増加、これは早めの年末相場が始まったものと考えています。今回はそう考える理由をお話しします。

## 年末相場とは

経験則的には年末にかけて株式市場は上昇することが多いと言われており、この上昇を年末相場と言います。上昇の理由については来年に期待する投資家の買いによると言う解釈が多いようですが、自分はむしろ今年収益をあげられなかった投資家による挽回のための買いが株価を押し上げる、という方が当たっているように思います。

## 早めの年末相場

まだ11月ですがここから年末相場と見る理由は、今年は株式市場の変動が極めて小さかったため収益をあげられなかった投資家が多く、そうした投資家からの買いが期待できると見ているからです。きっかけがあれば一気に株価を押し上げる可能性もあるとみています。

## 企業業績は絶好調

株式市場を取り巻く環境は良好です。日本経済新聞によると上場企業の2021年4-9月期の純利益は前年比2倍、過去最高を更新したとのこと。また通期では48%増の見通しです。聞いたこともないような好決算です。この好決算の理由として挙げられるのは、世界経済が好調を維持していることです。自動車やIT機器など様々な所で使われる半導体は需給のひっ迫が続いており、半導体メーカーの業績は好調を持続しています。資源価格の上昇から商社・鉄鋼や、生産活動の回復で荷動きが活発化した海運も大幅増益となりました。一方、旅客需要が落ち込んでいる鉄道・バスや空運は国内でのコロナ影響の長期化などで回復が遅れている模様です。

## 新型コロナは沈静化

欧米では新型コロナの感染は再拡大していますが、日本では新規感染は低水準にとどまっています。コロナ対応が奏功していることから資金を欧米から日本にシフトする動きが出ることもありそうです。

## 日経平均は3万円超えをめざす

こうした状況にもかかわらず日経平均は3万円前後で推移していますが、ここからは日本株は早めの年末相場に移行、日経平均は3万円を超えるとの見方です。

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.  
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)  
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号  
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業  
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等はご遠慮ください。